

『道路冠水図よくある質問 Q&A』

Q. なぜ概ね10年の閲覧なのですか？

A. 河川施設の整備により、10年前と比べて治水安全度が大きく向上しています。また、道路工事や民間開発などにより土地利用形態や地盤高も変わっているため、10年以上前の道路冠水図は現状を反映しておらず参考にならないことが多々あります。

このことから、古い道路冠水図を掲載した場合、閲覧する方の誤解を招く危険性があり、有益な情報にはならないと考えています。

Q. なぜ参考にならないのですか？

A. 現存する道路冠水図は基本的に内水被害によるものであり、大雨による河川水位の上昇に伴い排水が間に合わなくなるなどして発生しています。

全体的に地盤が低く水が溜まりやすい本市は、内水被害が発生しやすく、排水路や集水柵などの整備状況にも大きく影響を受けます。その傾向を把握するためには10年程度の履歴で足りると考えています。

Q. もっと古い道路冠水履歴を確認するにはどうしたら良いのですか？

A. 古くから住んでいる近所の方に確認するのが最も確実です。

併せて、近況も確認してみることをお勧めします。

また、「草加市内水（被害）概略図」（河川課）により、平成16年の台風による冠水状況の概略について確認できます。

～国・県における主な河川施設の整備（平成10年以降）～

<綾瀬川放水路関連>

平成10年10月 八潮排水機場増強（ $50\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 100\text{m}^3/\text{s}$ ）

<伝右川関連>

平成10年3月 龍塚水門完成

平成16年6月 伝右川排水機場増強（ $10\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 15\text{m}^3/\text{s}$ ）

平成22年3月 神明排水機場増強（ $10\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 20\text{m}^3/\text{s}$ ）

<辰井川関連>

平成12年3月 柳島調整池完成（ $69,000\text{m}^3$ ）

平成12年7月 谷塚治水緑地完成（ $26,000\text{m}^3$ ）

平成13年6月 辰井川排水機場完成（ $10\text{m}^3/\text{s}$ ）

<古綾瀬川関連>

平成18年6月 古綾瀬川排水機場完成（ $10\text{m}^3/\text{s}$ ）

★★お願い★★

河川施設の整備により治水安全度は向上しているものの、地球規模の気候変動などの影響から、台風の大型化及び想定を超える大雨の多発が顕著となり、全国各地で河川氾濫などの大規模な被害が相次いでおります。

現存する道路冠水図は内水被害による実績であり、河川氾濫などの外水被害について参考にする資料ではございません。必ず「草加市ハザードマップ」を確認して災害に備えてください。